

平成19年度決算認定

# 安心と活力のあるまちづくりへの第一歩

## 第5次寄居町総合振興計画基本構想の初年度

議会初日に提案された平成19年度決算審議を「開かれた議会改革」の一環として、9月18日・19日の2日間、本会議場にて開催しました。両日は決算の質疑を行い、最終日に討論・採択を慎重審議して全会計を認定しました。



工場本体の工事が待たれる（ホンダ寄居新工場）



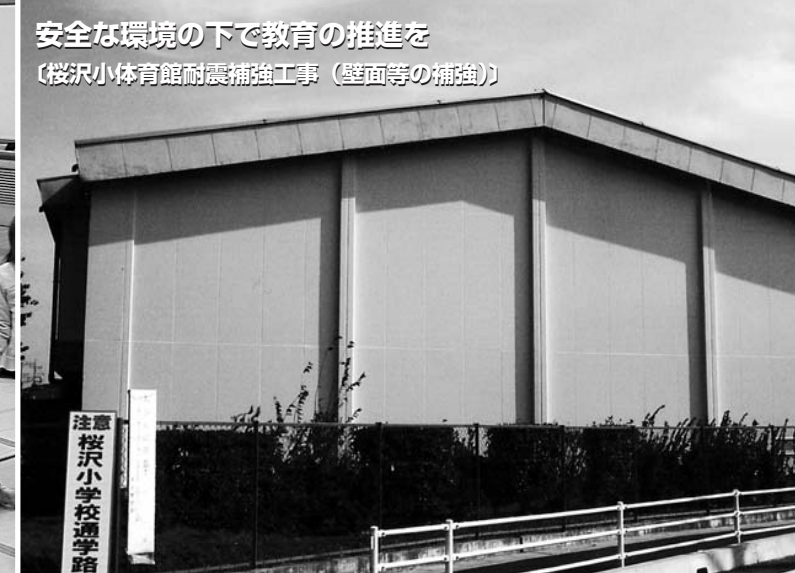
明るく快適な住環境整備  
 (町営住宅中道中団地)



お年寄りが元気で暮らせるために  
 (高齢者スポーツ大会)



子育て不安の解消を  
 (歯科保健講座)



安全な環境の下で教育の推進を  
 (桜沢小体育館耐震補強工事(壁面等の補強))



平成19年度  
**決算**

### 一般会計 (前年度比で、町税は8・5%増、人件費は3%減)

平成19年度寄居町一般会計決算は、第5次寄居町総合振興計画基本構想の初年度として、町の将来像「自然と産業が調和する創造のまち 寄居」の実現に向け、

- 子育て支援の推進
- 企業誘致の推進
- 教育環境整備の推進
- 住環境整備の推進
- 福祉・保健の推進

を最重点施策として掲げ、諸施策・諸事業の推進を図ってきました。歳入は前年度比1・2%、歳出は3・6%それぞれ増となりました。

なお借金の財政負担割合を示す実質公債費比率は、前年度に比べ0・4ポイント減少しました。

※次のページに

「一目瞭然!町の財政状況」を

掲載しています。

**討論** ためこんだ9億円のうち、せめて1億円は住民のために使って

田母神節子議員

新生チャレンジプラン2006は、補助金の一律1割カット、人件費のカット、使用料、手数料の値上げで公的施設の有料化など、住民の皆さんの大きな負担で成り立っています。相変わらずの突出した同和予算や、4000万円を超える総務費等の不用額。また職員の削減による長時間労働は健康を害する職員を生み、住民サービス低下につながります。豊事件の裁判も判決が出ました。二度とこのようなことがないように。新しい事業を始めるのに、議会にも関係団体にも相談をしなければ「認定子ども園」の問題もあります。平成15年から毎年黒字です。ため込んだ9億7000万円は、住民の皆さんの汗の結晶です。せめて目に見える形で、そのうち1億円は住民のために使うことを要求します。

**討論** 子育て世帯への積極的な支援などを評価

本間登志子議員

歳出総額では前年度を3・6%も上回る事業の執行、歳入で99億円を確保したことは評価できます。歳出では特に、子育て支援の推進において、こども医療費支給事業について19年4月診療分から支給対象年齢の拡大を図り、さらに窓口払いを廃止するなど、子育て世帯の経済的負担に對してこれまで以上に積極的な支援を行うとともに、多様な保育ニーズに対しては、低年齢児保育、延長保育など保育サービスの充実にも努めました。今後も引き続き、地域全体で子育てを支援する体制の整備に努力してほしいと思います。このほか、重点事業である企業誘致の推進等についても、積極的に施策が展開されており、執行の努力がうかがえます。

一般会計決算に対する討論